

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
55	B-07011933	男性	7歳	88 mg	セラベプターゼ カルボシステイン 塩酸プロムヘキシソ	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用30分後、興奮、大声を出す。夜、本剤2回目服用30分後、興奮、大声を出す。目つきがおかしく、動き回る。2階の部屋で階段へ突っ走るのを家族が抱きとめて制止。	異常-47	2007/10/1以降追加報告
56	B-07012130	男性	7歳	66mg	ソニサミド セフジニル アセトアミノフェン トラネキサム酸 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ツロプテロール 塩酸シプロヘプタジン	意識消失	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用4日目、昼、外に飛び出しそうになった。興奮状態でバタバタとした。事象発現から2時間後、2、3分間の意識消失発作。夜、2、3分間の意識消失発作。頭痛がしてボーっとした。頭痛は続いた。興奮して眠れない状態になった。	異常-48	
57	B-07013248	女性	7歳	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用数時間後にベランダの方へ歩き出し、親が、取り押さえ大事に至らず。左右もわからない状況で、訳のわからないことも言っていたとのこと。	異常-49	
58	B-07013301	男性	7歳	88 mg	フマル酸ケトチフェン テオフィリン クロモグリク酸ナトリウム カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン トラネキサム酸 塩酸シプロヘプタジン ツロプテロール	異常行動	回復	A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、睡眠中、ムクッと起きて2階に駆け上がった。姉につれられて泣きながら下りてきて、すぐに寝た。本剤中止。	異常-50	
59	B-07013303	女性	7歳	81 mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンブロキシソール 塩酸ツロプテロール	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。本剤服用4時間後、体温は37.6℃、いつもより落ち着きがない感じであった。服用2日目、朝、本剤服用2時間後、布団でテレビを見ていて、すごいスピードで突然1階と2階を何度も昇り降りし、理解できない独り言を喋っていた。ついには、外へ飛び出そうとして、家人が取り押さえ、事なきを得た。この時の記憶は残っていない。事象発現4時間後、症状回復。	異常-51	
60	B-07013309	女性	7歳	80 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。1回目服用1時間後、意識がおかしくなりベランダへでいこうとした。鍵がかかっている本人フラフラしてあけられなかった。同日症状回復。	異常-52	
61	B-07013377	女性	7歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、布団で寝ていたが、急に起き上がりベランダに置いてあったテーブルの上に乗ってへらへら笑っていた。	異常-53	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
62	B-07013384	男性	7歳	40 mg	フマル酸ケトチフェン トラニラスト プロピオン酸フルチカゾン	幻聴 幻覚 譫妄	回復 回復 回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル服用開始。服用1時間後、精神症状（幻聴、幻覚、せん妄発現。「こわい」「学校へ行く」等、不可解な発言と、突然立ち上がり、外へ出て行こうとする行動あり。本剤中止。 夜、受診時、特に問題をみとめず、解熱剤屯用の処方を受け帰宅。服用2日目、再診。夜間も高熱持続し、少しおかしい発言はあったというが、来院時は消失していた。一方、鼻汁、喘鳴をみとめ、ツロブテロール、マレイン酸クロルフェニラミン、チベピジンヒベンズ酸塩を処方。以降受診なし。	異常-54	2007/10/1以降追加報告
63	B-07018715	男性	7歳	120 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.3°Cの発熱あり。インフルエンザA型と診断。以前、熱性痙攣を起こしたことがある。卵白アトピーが強いため、インフルエンザの予防接種は不可能。リン酸オセルタミビル処方され、朝、夕に服用。深夜、起き出しトイレに行くのかと母親は思ったが、玄関に向かっていき、その後ベランダに向かって走り出し、外に出ようとした。母親が捕まえしたが、放してくれと叫び、蹴るなど暴れた。母親が泣いている姿をみて我に返ったように「どうしたの？」と言ったとのこと。母親がそのとき抱きしめていた感覚では熱はなかった様子。翌日、本剤は服用せず。		2007/10/1以降新規報告
64	B-07023001	女性	7歳	84mg	アセトアミノフェン	夢遊症	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、夜、横臥中、突然立ち上がり、部屋内を夢遊病のように歩き回った。		2007/10/1以降新規報告
65	B-07023857	男性	7歳	48 mg	アセトアミノフェン カルボシステイン dl-マレイン酸クロルフェニラミン	異常行動	回復	ウイルス診断にてAB混合型と診断。リン酸オセルタミビル服用後就寝。体温、39.3°C。約1時間後、起きてトイレに行き母親に怖い夢をみたと言っていた。トイレから帰って又、寝たがすぐに起き上がり、玄関を開けて外に出ようとした。あわてて母親が止めて又寝させた。		2007/10/1以降新規報告
66	B-07025434	男性	7歳	105 mg		異常行動	回復	夜、リン酸オセルタミビル服用後、家の外に出て放尿していた。「洗濯籠が怖い」と叫んでいた。患者はそのことを覚えていない。		2007/10/1以降新規報告
67	B-07026155	男性	7歳	42 mg	鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(3) カルボシステイン メクロプラミド	異常行動	回復	インフルエンザA型B型混合型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。屋寝時、岩が落ちてくる、と言って覚醒する。夜、奇声をあげて走りまわる。服用2日目、朝、解熱。正常に戻る。奇声をあげて走りまわる、幻覚回復。		2007/10/1以降新規報告
68	B-07028194	男性	7歳	60 mg	ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン カルボシステイン アセトアミノフェン	譫妄	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェンを服用。 譫妄発現。「わけのわからないこと」を言い、さらに数時間後「暴れたい」などと口走ったため1回だけの服用で全ての服薬を中止。 服薬中止2日後、同症状は3日間毎夜出現（昼間は異常なし）。 服薬中止4日後、横になると何回も起き上がり、「我慢できない。暴れたい」と口走り、部屋の中を小走りにつけ回った。「頭の中にダンベルが出てくる」ともいい、開眼していたが、目の前の母親ではなく違うところを見ていた。 服薬中止5日後、本人は「なぜかわからないが暴れなくなった」とのこと。		2007/10/1以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
69	B-02014446	女性	8歳	36mg	セフボドキシムプロキセテル トシル酸スルタミシリン ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン	高揚状態	回復	発熱により他院受診。セフボドキシムプロキセテルが処方。2日後、リン酸オセルタミビル他を夕方より服用開始。服用開始2日後、気分高揚症状発現。母親によるとほろ酔い状態であるとのこと。服用開始4日目の朝で服用中止、その後次第に気分高揚状態が軽快。服用後7日後に回復。	異常-55	
70	B-05000677	男性	8歳	84mg		意識変容状態 異常行動	回復	前日來の発熱のため受診し、インフルエンザAと診断されリン酸オセルタミビルを投与。投与後2時間後に意味不明な発言、意識障害、行動異常が発現。近医を受診したが神経学的異常なく無処置で帰宅。その後再度服用すると、その後より急に起きあがり、歩き回り、幻覚も合併。救急外来を受診。異常運動を認め入院。輸液治療により7時間後に回復。	異常-56	
71	B-05001224	男性	8歳	110 mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン パモ酸ヒドロキシジン	幻覚 落ち着きのなさ 異常行動	回復 回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与。本剤服用後入眠しその3時間後、覚醒直後から幻覚などの異常行動出現。当日中に再度受診し、生食点滴にて症状回復。	異常-57	
72	B-05018854	男性	8歳	112mg	臭化水素酸デキストロメトラン カルボシステイン アセトアミノフェン	異常行動 (精神症状 (異常行動))	回復	発熱有り受診し、A型インフルエンザと判断される。本剤投与後、仮眠しその1時間半後異常行動発現。突然起き上がり、玄関から飛び出しているとした。1時間程で異常行動抑制され、次第に記憶回復。状態が過落ち落ち着いたところで受診。頻脈、多呼吸、チアノーゼ等なく経過観察。翌日解熱し、その後も精神症状なし。	異常-58	
73	B-05021659	男性	8歳	102mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン ソリタT-1(点滴) 酢酸維持液(ブドウ糖加)(点滴)	異常行動	回復	確認診断にて、本剤、アズベリン、ムコダイン処方。本剤投与5時間後、異常行動(人形に話かける、部屋を歩き回る、意味なく笑い出す、九九を唱えるなど)発現。救急車にて来院し入院となる。入院時、意識ほぼ清明。翌日、解熱する。本剤投与し続けるも異常行動発現なし。処方全て服用する。	異常-59	
74	B-05022380	男性	8歳	60mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	異常行動	軽快	発熱、咳嗽にて本剤処方。本剤、解熱剤服用後、異常行動発現(奇声をあげる、意味不明な事を言う、数が数えられない、自分の年齢がわからない)し、入院となる。入院時、点滴のみで観察。異常言動なし。翌日、自分で点滴抜去、病棟内を一人でうろつく。脳波異常所見あり、MRI異常所見なし。3日後、異常言動軽快退院	異常-60	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
75	B-05022780	男性	8歳	46.5mg	トラニキサム酸 メキタジン	異常行動 激越	回復	髄膜炎の既往歴あり。発熱のため、確定診断後本剤処方。体温39.6℃、2回目服用後、就寝するが、激越発現（急に大声でわめきながらおきる）。その後翌日正午まで、異常行動（異常な発言とともにベットや机、椅子の上に乗りピョンピョン跳び上がる。家中を歩き回る。）継続する。起床するが、覚えていなく、ボーっとしている。本剤の服用中止する。その後2日間は16～18時間の睡眠をする	異常-61	
76	B-05023443	男性	8歳	93 mg	ヒベنز酸チペピジン 塩酸プロムヘキシン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	発熱(39.5℃)、インフルエンザA型、咳、鼻症状にてアズベリン、ピソルボン、ペリアクテン、本剤を処方。本剤服用後、精神神経症状(二段ベットの上段で手を広げて立ち上がる、ベットから降りてベランダへ走って行き手すりにつかまって飛ぶ動作等)、尿失禁発現。翌日、投与中止し、精神神経症状、尿失禁回復	異常-62	
77	B-05025720	男性	8歳	不明	解熱剤(不明)	異常行動	軽快	A型インフルエンザ治療のため本剤服用開始。2回日本剤と解熱剤服用30分後に異常言動(にたにた笑う、両手で何かを掴もうとする)発現。救急車にて入院。夜間異常言動あり(ベッド柵を乗り越えようとする、意味不明な言葉を発する)。翌朝意識清明で、脳波、MRIに異常所見なし。入院3日目に異常言動軽快退院。	異常-63	
78	B-05026722	女性	8歳	54mg	ヒベنز酸チペピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	精神症状	回復	A型インフルエンザで発熱(39.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビル服用を開始。投与開始日の夜に40℃の発熱とともに奇声をあげて起き上がり、室内を歩き回る中枢神経症状が発現した。この後リン酸オセルタミビルの服用を中止した。投与開始から2日目の昼も同様の症状がみられた(体温37.5℃前後)。投与開始から3日目は中枢神経症状がみられていない(体温39.5℃)。その後、投与開始から5日目に中枢神経症状が回復した。	異常-64	
79	B-07000086	女性	8歳	120mg	ヒベنز酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさけび部屋を走り回るためおさえる。5～6分続く。翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5～6分続く。その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。	異常-65	
80	B-07000288	男性	8歳	42 mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザA治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5～6時間後、部屋を意味も無くうろろする。急に水遊びをしだす。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。	異常-66	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
81	B-07001354	女性	8歳	60 mg	カルボシステイン 塩酸アンプロキシロール	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。 服用開始2日目、酸素マスクをはずして、点滴のラインとカチャカチャぶつけていた。声を掛けると我に返った。ベッドの上に立ち上がった。声をかけても反応無し。手をベッドにぶつける。 服用開始から6日目、異常行動回復。	異常-67	
82	B-07003582	女性	8歳	90 mg	カルボシステイン リン酸ジメモルファン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にてリン酸オセルタミビル処方。1回服用1時間後、突然2階に走っていき、部屋をウロウロする。翌朝までずっとウトウトしていた。夜、2回服用。夜間、犬を呼ぶ動作、物を食べる動作、家の中を徘徊、手を何回も洗う、尿失禁等がみられた。 翌朝、40℃の発熱。朝からボーッとしており、呼びかけへの反応も乏しい状態が続くため、受診。精査加療目的に入院。脳波上、全般性の徐波を認め、MRI所見なし。髄液所見なし。脳症の可能性を考え、メチルプレドニゾロン投与を施行。 翌日、意識清明となり経過良好。	異常-68	
83	B-07013003	男性	8歳	150mg	シメトリド・無水カフェイン ヒベンズ酸チベピジン dl-塩酸メチルエフェドリン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤服用後、異常行動が発現（ベッドからとびおる。廊下を走りまわる。大声でわらう。意味不明の事を言う）。体温は40.2℃。服用2日目、本剤服用。体温は37.4℃。異常行動回復。	異常-69	
84	B-07013253	男性	8歳	84 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始から3日目、内服後、2階の部屋より階段へ飛び出す異常行動が発現。特別な処置はなし。本剤中止。服用開始から5日目、熱が37.2℃。その後、異常行動は回復。	異常-70	2007/10/1以降追加報告
85	B-07013258	男性	8歳	120 mg		異常行動	回復	夜間、40℃の発熱があり、A型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。1回服用後、嘔吐。服用2日目、2回服用後5～10分の間、騒ぐ。その後、ベランダへ出て行った（マンションの10数階）。母親が部屋に連れ戻した後、続いてトイレへ駆け込み、大声を上げる。本人は一連の記憶なし。その後、寝かしつけ、異常行動は回復。	異常-71	
86	B-07013304	男性	8歳	100 mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。同日、意識混濁が発現。自宅の外に出るが、その後、意識混濁は回復。	異常-72	
87	B-07013310	女性	8歳	45 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用約2時間後、理由もなく外に飛び出そうとする。異常言動発現。家族が止め大事には至らなかった。服用3日目、異常言動回復。発熱もなくなったため、本剤中止。	異常-73	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
88	B-07013385	女性	8歳	99mg	アセトアミノフェン 酒石酸アリメマジン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキシロール	異常行動	回復	朝より38.0℃の発熱あり、検査にてインフルエンザA型と判定し、リン酸オセルタミビル等処方。服用2日目、昼、寝ていた子供が急に大声を出して親に命令口調でしゃべりだし、走り出して暴れた。5分後位でおさまり本人はまた寝ていた。事象発現から30分後に異常行動は回復。その後、そのことについて本人に聞くもまったく覚えていない。約2週間後、昼、発熱。夜中には39.5℃まで上昇。突然わけのわからない事を大声で叫び、走り出し、兄に襲いかかった。また何かが見えると幻覚症状を訴える。身体を震わせて混乱した様子だった。翌日、受診し、インフルエンザB型と判定。前回と同じ薬を母親が希望。本剤服用いかんにかかわらず、同様の症状出現。	異常-74	
89	B-07013400	男性	8歳	90 mg	クラリスロマイシン メキタジン カルボシステイン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、夜、38.4℃の発熱があり、入眠。服用4時間後、深夜、ぶつぶつとつぶやきながら歩き回っていた。引き戸のロックを外してベランダを出ようとしていたので、母が声をかけると止まった。次第に落ちて着いて2時間後には入眠。異常行動回復。服用4日目、朝、起床時は異常なし。	異常-75	
90	B-07020496	女性	8歳	90mg	カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン d-メレイン酸クロルフェニラミン	異常行動	回復	午後、39℃の発熱、鼻汁、咳等の症状にて来院し、インフルエンザキットにてA型インフルエンザと診断。リン酸オセルタミビル処方。夕方、1回目服用。その後寝ていた。服用5時間後、睡眠中に突然起き上がり、部屋のドアを開け「パパおかえり」と言った。服用8時間後、ふとんから起き上がり、ニヤニヤしていたため、母親が「大丈夫？」と声をかけたら「うん」と言った。翌朝、いつも通りで、体温37.1℃。特に変化なし。		2007/10/1以降 新規報告
91	B-07020966	不明	8歳	不明		異常行動	回復	診察時にも訳の分からないことを言っていた。夕方、リン酸オセルタミビルを1回服用後、夜中に走り出した。その時に親が押さえて、止められた。		2007/10/1以降 新規報告
92	B-07021970	女性	8歳	52.5mg	塩化リゾチーム カルボシステイン	異常行動	回復	姉がインフルエンザA型加療中のところ、起床時37.6℃発熱ありとのことで、迅速検査で陰性だったが、臨床所見よりインフルエンザを疑いリン酸オセルタミビル処方。終日発熱は37℃台で、本剤服用させなかったとのこと。併用薬は服用。翌日、起床時、40℃にて本剤服用。その後入眠し、1時間後、「姉が暴れて寝られない」と泣きながら自室より出てくる（姉は登校後）。家人が落ち着くよう諭し、すぐ落ち着く。電話連絡あり、本剤の服用中止を指示。		2007/10/1以降 新規報告
93	B-02002847	男性	9歳	75mg	アスピリン ワルファリンカリウム ジピリダモール カルボシステイン リン酸ジメモルファン	譫妄	回復	B型インフルエンザ確定診断後、リン酸オセルタミビル75mg/日を投与開始。投与1回目の1時間後に意味不明の発語及び行動が観察される。有害事象発現3時間後に回復、有害事象発現時の記憶なし。以後本剤の服用中止。	異常-76	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
94	B-03005859	男性	9歳	150mg	塩酸セフカペンピボキシル セラペプターゼ フェジソ酸クロペラスチン	無感情 異常行動 意識レベルの低下	回復	微熱が持続していたため、臨床的にインフルエンザと診断、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与2日後返答しない、活動性低下の変化を認め、本剤投与中止。中止後、翌日、翌々日と突然意味不明の発言や行動が見られる。その後、徐々に活気改善し異常行動認められず。	異常-77	
95	B-05000151	男性	9歳	不明	セフトラムピボキシル 酪酸菌製剤 カルボシステイン	幻覚 落ち着きのなさ	回復	B型インフルエンザ治療のため、投与量不明のリン酸オセルタミビルを投与開始。2回目投与の2時間後、異常な発言、歩き回る状態が見られ、パニック状態となる。有害事象発現3時間半後に救急受診したときには意識清明、回復、本剤投与中止。その後は有害事象発現せず。	異常-78	
96	B-05021185	女性	9歳	84mg	カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベピジン アセトアミノフェン	譫妄(せん妄状態)	回復	発熱(40℃)インフルエンザA診断確定後リン酸オセルタミビル投与開始。朝夕服用後入眠、2時間後覚醒し譫妄発現(部屋の中を走り回る。)(本人は覚えていない。)譫妄状態持続時間30分、一旦入眠するが2時間後に再発30分で回復。発現中は発熱なし。翌朝40℃発熱、入院し輸液により解熱。その3日後退院。	異常-79	
97	B-05024835	男性	9歳	50 mg	アセトアミノフェン	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(39.2℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約2時間後にせん妄(突然起きあがる。走り出しそうな感じが有り、押さえつける、会話不成立、手足をばたばたさせるなど)を発現し、投与中止後もせん妄が数回見られた。せん妄は事象発現から6日目に回復した。	異常-80	
98	B-05024837	男性	9歳	99mg		幻覚	回復	A型インフルエンザで発熱(38.8℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用した。服用開始から約1時間後に幻覚等(玄関から外出するなど)が発現し、その後幻覚の症状は回復した。投与開始から約10時間半後にリン酸オセルタミビルを服用したところ、その約1時間後に幻覚が発現し、幻覚は約5分程度で消失した。	異常-81	
99	B-05025584	女性	9歳	54mg		異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。昼前1回目服用約4時間後に異常行動(部屋の中を急にウロウロ歩き回る)発現。その後、安静にて就眠。同日再診し溶連菌+を確認、本剤中止、水分補給、安静を指示。翌午前異常行動回復、インフルエンザも回復。	異常-82	
100	B-06025100	男性	9歳	30 mg		異常行動	回復	39℃の発熱、頭痛あり、夜、インフルエンザ陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。深夜、起き上がろうとしたり、意味不明な話をしてきたといった入眠中の異常行動発現。本人は覚えていない。その後、本剤服用せず。救急外来受診し、入院。ザナミビル服用し、特に問題なし。	異常-83	2007/10/1以降追加報告
101	B-07000097	男性	9歳	75 mg	カルボシステイン	幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が発現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。	異常-84	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
 （販売開始（平成13年12月）から平成20年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No	備考
102	B-07000198	男性	9歳	60 mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。	異常-85	
103	B-07000262	女性	9歳	42.6mg	クラリスロマイシン フマル酸ケトチフェン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、睡眠。その30分後ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。	異常-86	
104	B-07012129	男性	9歳	150 mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1) 非ピリン系感冒剤(4) メフェナム酸	異常行動 幻視	回復 回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用2日目、朝、突然ワーと発声しながら部屋の中を走り回る。包丁を持った男の人が追いかけてくるという幻視。意識清明で、この時の記憶あり。事象発現から4時間後、家族が買い物から戻ると、庭の隅でかがんでいる。上記と同様の幻視で隠れていたとのこと。1回目事象発現から6時間後、緊急入院（本剤服用中止）。その後、幻視、異常行動はなし。	異常-87	
105	B-07013252	男性	9歳	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用約3時間後に、窓を開け飛び出そうとした。家人がとめたので争なきを得た。患者に「どうしたの？」と聞くと、「魚釣りに行く」と答えた。服用開始2日目、異常行動は回復。本剤は服用4日目まで投与継続。この間、異常行動は認められなかった。	異常-88	
106	B-07013257	女性	9歳	42.45mg	塩酸アンブロキシソール カルボシステイン アセトアミノフェン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。服用後、寝ていたが30分ほどして起きて外へ飛び出そうとした。一旦落ち着いたが、再びパジャマをビリビリに破るくらい暴れたため、病院へ搬送。その後回復。	異常-89	
107	B-07013259	女性	9歳	93 mg	ヒベンズ酸チペピジン d-マレイン酸クロルフェニラミン ラクトミン 鎮咳配合剤(1) 塩酸ツロプロテロール カルボシステイン アセトアミノフェン	激越	回復	インフルエンザA型の診断で、リン酸オセルタミビル処方。夕方、本剤2回目服用後、横になってテレビを見ていたが、服用約1時間後、「怖い」と言って部屋を飛び出し、父親がやっと抑えることができた。その後も本剤服用を継続するも問題なし。	異常-90	
108	B-07013313	男性	9歳	75 mg	アセトアミノフェン ノルフロキサシン	異常行動	回復	倦怠感、38.6℃の発熱。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。就寝1時間後、突然に暑い暑いと騒いで窓を開けて雪の降る外に飛び出した。母親が帰るように言っても、なかなか帰って来ず外でぼーっとしていた。母親は「寒いから窓を閉めるよ」と言ったら、とぼとぼと帰ってきた。しばらくして就寝した。服用2日目、朝、前夜の記憶なし。	異常-91	